



アイドルは大変だ

みなみ

～登場人物～

HOTARU-GENJI+1 ほたるげんじぷらすわん

リーダー

内田光輝 うちだこうき うっちー

諸岡和也 もろおかかずや かつちゃん

山下淳平 やましたじゅんぺい じゅんちゃん

赤西晃人 あかにしあきと あっきー

佐山敦彦 さやまあつひこ あっちゃん

追加メンバー

朝比奈亮祐 あさひなりょうすけ ヒナ

僕は朝比奈亮祐 あさひなりょうすけ
Jニーズ じぇーにーず のアイドルをしている。
最近HOTARU-GENJI ほたるげんじ の追加メンバーになった。

子供の頃からダンスも習ってたし、ボイスレッスンにも通ってたし、
事務所に入ってから、HOTARU-GENJI さんのバックで踊っていたこともある。

だからメンバーに追加されるって決まったとき、嬉しくて涙が止まらなかった。
でも僕の考えは甘かった。
HOTARU-GENJI さんのダンスについていくには、今の2倍のレッスンが必要だった。

レッスンしてもレッスンしても、いつか遅れてしまって、
ダンサーの岡間田 おかまだ さんに叱られてしまう。
その様子をいつも心配そうにメンバーの諸岡 もろおか さんがみていて、
レッスンが終わると笑顔で話しかけてきてくれる。

他のメンバーもとくに気にする様子もなく、
「ヒナお疲れ」と言って肩を叩いてくれる。

「あんたたち ヒナを甘やかすすぎ そんなことだからヒナが成長しないのよ」
と岡間田さんがメンバーに文句を言っている。

そして再び岡間田さんとマンツーマンでレッスンを始める。
疲れて動けなくなって座り込むと岡間田さんが、
僕の頬に冷たいスポーツドリンクを押し当ててきて、
「お疲れ」
と言って帰っていく。

「アイドルなるから別れてくれって ヒナ それマジで言ってんの？」

「うん」

「意味わかんないんですけど・・・」

「右田 みぎた ……ごめん……」

「だったらさ あのリングに5投連続で入ったら諦める
でも1投でも外したら話し合う時間をちょうだい」

「いいよ」

ヒナが5投入れ終わると、

「ちょっと亮 りょう ちゃん 1投ぐらい外してあげなさいよね」
と優梨 ゆうり （幼馴染）が話しかけてきた。

「うん そのつもりだったんだけど入っちゃった」

「私と話すことはもうないってことだね
アイドルになってHOTARU-GENJIになれば
なりたかったんだよね

でも有名にならなかつたら 今度ヒナとどこかで出会っても
絶対話しかけてあげないんだから……」

「絶対有名になる 約束」

「なにそれ…… ゆびきりとか子供じゃないんだから……
そんなことしなくても信じてるから……」

「寿 とし （ヒナの弟） 帰るよ」

「何で？」

「何でじゃないでしょ 二人っきりにさせてあげなさい」

「何で？」

「寿 あんたにはデリカシーってものがないの？」

「何それ？」

「もお～ 良いからかえるよ」

「分かったよ 帰れば良いんだろ」

というような話しをしながら、優梨と寿は体育館を後にした。

右田とヒナは抱き合いながら、

「ヒナ…… 大好きだよ……」

「知ってる」

「頑張ってね 無理しちゃだめだよ
ヒナはすぐ無理するんだから」
「分かってる」
というような話しをしている。

その2年後ヒナは右田のところに、
自分のサインと一緒に、HOTARU-GENJI+1のサインを送った。
「ありがとう ヒナ でもヒナのサインだけで良かったんだけどな
私ヒナにしか興味ないから」

HOTARU-GENJI+1 ほたるげんじぷらすわん

と今日からグループ名が変更になった。

今日は金曜8時の番組ミュージックステージに出演することになっている。

HOTARU-GENJI+1としての初めての仕事なので、

いろんな意味で緊張しまくっている。

司会のモーリーさんと女子アナの松永美和子 まつながみわこ さんが、
出演者の名前を呼んでいる。

最後にHOTARU-GENJI+1さんです っと呼ばれたが、

緊張でがちがちになっていて体が動かない。

後ろから諸岡さんに背中を押されて階段を降りると、

ローラースケートのタイヤが階段に引っかかってしまって、

階段から落ちそうになった。

下にいた内田さんに腕を掴まれ、そのままステージに引っ張り出された。

後から来た諸岡さんが、くすくす笑いながら近づいてくる。

松永さんが、

「新メンバーの朝比奈君は HOTARU-GENJI新メンバー募集オーディションで
応募総数500名のなかから見事にグランプリを勝ち取られました

以前はHOTARU-GENJIさんのバックで踊った経験もあるそうです」

モーリーさんから、

「朝比奈君自己紹介しとこうか」

とマイクを渡された。

「朝比奈亮祐です これからHOTARU-GENJI+1として頑張っていきますので
応援よろしくお願いします」

「ヒナ スマイル スマイル」

という諸岡さんの声で僕は微笑むと、お客さんの黄色い声援が聞こえてきた。

そわそわして他の人の歌を聞く余裕がないくらい、
僕は緊張している。

隣に座っていた諸岡さんが、

「ヒナ これ知ってる？」

と話しかけてくれた。

「クリस्प☆ピーナのCMのダンスですよ」

「ヒナもやってみ」

「あれ？これ合ってます？」

「微妙」

諸岡さんは、くすくす笑いながら、

「行くぞ」

と僕の背中を押した。

僕はモーリーさんと、

「朝比奈君 Jニーズに入ったきっかけは？」

「友達に勝手に履歴書を送られたんです」

というような話しをしていると、

松永さんに、

「ではHOTARU-GENJI+1さんスタンバイのほう

よろしくをお願いします」

と言われステージに入ると内田さんに、

「かっちゃん センターライト ヒナ センターレフト」

と指示されて位置につこうとすると、

内田さんがブロックサインで何かをメンバーに伝えていた。

メンバーはOkサインをだし位置についた。

曲が流れてきて踊り出した時、さっきのブロックサインが、

『ダンス ヒナに合わせろ』

だってことに気がついた。

曲が終わると僕のところにメンバーが集まり、

微笑みながら、みんなで手をつないでお客さんに手を振った。

僕達は、お客さんの黄色い声援を背にしながら席に戻った。

席に着くとJ-K-T　じえーけーてい

（尋　じん　航　こう　寿　とし　の頭文字からとった）
のマネージャーが僕のところに近づいてきた。

「ヒナさん　寿が怪我して出られなくなったんで
変わりに出てくれないかな？」

「良いですけど、僕　寿みたいにラップうまくないですよ」
とJ-K-Tのマネージャーと話していると松永さんに、

「ではJ-K-Tさんスタンバイのほう　よろしくお願いします」
と言われ速攻衣装に着替えてステージに入った。

「尋　航　センターで歌って
僕は寿のラップまでバックで踊ってるから」

「了解です」
曲は終盤に差し掛かった。
寿のラップを何とかこなして曲が終了した。

「尋　航　お疲れ」
「ヒナさんも　お疲れです」
ふたたび速攻衣装を着替えて席にもどった。

諸岡さんが僕の肩を叩いて、
「ヒナ　お疲れ」
と言ってくれた。

席の後ろでJ-K-Tが、
「ヒナさんのラップうまかったよね」
「うんうん　かっこよかったよね」
なんて話しをしていた。

内田さんがふたたびブロックサインで何かをメンバーに伝えていた。
メンバーはOkサインをだして何か楽しそうだった

番組が終わって楽屋に戻った。

「ヒナ 話があるから そこに座れ」
叱られるのかとびくびくしていたら、
諸岡さんが優しい口調で話し始めた。

「うちのメンバーは年上も年下も関係なく
ニックネームで呼び合うことにしてるから
これからは俺のことを かっちゃんって呼んで良いから」

そう諸岡さんが言うと、
「じゅんちゃんであ〜す」
「あっきーであ〜す」
「あっちゃんであ〜す」
「うっちーであ〜す」
とみんなが挨拶し始めた。

「ほら ヒナも挨拶して」
「ヒナであ〜す」

僕が挨拶をすると、テーブルの布がめくられ電気が消えた。
窓からもれていた明かりをカーテンでふさぐと、
ろうそくの炎がゆらゆらゆれていた。
電気がつくとかっちゃんが、
「ヒナ誕生日おめでとう」
と叫んだ。
そしてメンバーがバースディソングを歌ってくれた。

「ヒナ ろうそくの火吹き消して」
とじゅんちゃんに言われて、ろうそくの火を吹き消すと、
メンバーが手を叩きながら、
「ヒナ誕生日おめでとう」
と言ってくれた。

「ありがとうございます」
そう言い終わると涙が出てきて止まらなくなってしまった。

「じゃこれ食ったら今日は解散」

うっちーが叫ぶと、メンバーがOkサインだして、
「了解」
と言ってケーキを食べだした。

土曜9時の番組サタディベストヒットで、
1988年の特集をするので、
ゲストでHOTARU-GENJIが出演することになった。

うっちーから、
「ヒナ 着替えてバックレフト」
と指示されて速攻衣装を着替えて位置についた。

うっちーからふたたび、
「ヒナ ひろちゃんのパート頼む」
と指示されてOkサインをだした。

PARADISE-GALAXY パラダイスギャラクシー
(ぱらぎゃらとも言われている)
は子供の頃いつもみんなで踊っていたなあ～。
(ヒナ・尋・航・寿・莉流 りる ヒナの初恋の相手)
懐かしいなあ～。

曲が始まりひろちゃんさんのパートを何とかこなし、
曲が終わって席に戻ると、
J☆KIDS じえーきっずのヘアメイクアーティストの、
氷菜田京香 ひなたきょうかさんが、
ステージにスタンバイしていた。

あっきーとあっちゃんが、
「京香さんが今歌ってる 100万ドルの笑顔 ひゃくまんどるのスマイル に
HOTARU-GENJIのオリコン10作連続の1位獲得を阻止されたんだよね」
「そうそう あれが1位だったら12作連続1位だったのにね」
なんて話しをしていた。

アイドルは大変だ

<http://p.booklog.jp/book/54498>

著者：みなみ

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/minamimoriyama/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/54498>

ブックログ本棚へ入れる

<http://booklog.jp/item/3/54498>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのパー（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社ブックログ